

多自然地域再生系プロジェクトフィールド

1. 佐用町三河基幹集落センター 古写真展

〔2013年10月20日(日)〕

佐用町におけるCOC事業多自然地域再生系プロジェクトとして、三河地域づくり協議会とかかわり、古写真の収集やパネルの作成などの協力をおこない、「みかわ古写真展」を開催しました。また、地域の農村舞台を活用した子ども歌舞伎の様子を視察しました。

古写真展会場の様子



2. 佐用町地域づくり協議会との協働会議

〔2014年2月25日(火)〕

この会議では、地域づくり協議会のセンター長の方々に、高齢社会の新たな社会システムの構築とごとの創造への参画、また、むらまちコンパクトシティの制度設計に参画していただけるよう、佐用町におけるCOC事業多自然地域再生系プロジェクトの推進にともなう、COC事業や予定している事業内容等に関してレクチャーを行いました。

赤澤准教授による、佐用町地域づくり協議会のセンター長に対するレクチャーの様子

3. キックオフイベントに向けた 明延鉱山事前調査

〔2014年1月～2月〕

養父市におけるCOC事業多自然地域再生系プロジェクトの推進にともない、養父市明延鉱山関連施設の見学、COC事業のキックオフイベントに関するあけのべ自然学校との打ち合わせを実施しました。また、明延の文化財の保存活用や文化的景観施策の進捗状況とCOC事業でのかかわり方に関する協議をおこないました。

「明延交流会」でまちあるきを行う坑道内の視察



4. 「空き家・空き地調査」

〔2014年3月3日(月)〕

環境人間学部都市計画研究室では、養父市八鹿の市街地に賑わいを取り戻すため、八鹿の街並みや地域資源などの調査、さらには地元市民有志の協力の下、「空き家・空き地調査」を実施しました。

八鹿に点在する空き家の解消を目指して、空き家所有者へのヒアリング調査を行い、問題解決のための方策を検討しました。

当日は、月曜日の夜間という日程にも関わらず、広瀬栄養父市長をはじめ、多数の市民の方にも参加いただき、都市計画研究室の学生5名が調査結果報告や空き家問題解決のための提案を行いました。

プロジェクトリーダーからのメッセージ



自然・環境科学研究所
(自然環境系)
田原直樹教授

兵庫県の面積の大部分は人口が少ない中山間地域です。豊かな自然に恵まれてはいますが、近年高齢化や過疎化が進行し、集落の維持が懸念されるところが少なくありません。やがて至る所で森林や農地が荒廃し、地域社会が崩壊する恐れがあります。この問題に対し、大学は何ができるのでしょうか。

きわめて困難な課題です。簡単に答えが見つかりそうにはありません。しかしながら、中山間地域は日本の自然の骨格を形成する大切な地域です。地域の方々と一緒に、活力を失いかけている、むらまちの再生にひとつずつ取り組んでいきたいと思います。あなたの参加を待っています。